



2012年2月期 決算説明資料

2012年4月25日

株式会社スーパーバリュー
(JASDAQ:3094)



1. 当社の概要



- 1) スーパーバリューとは・・・
- 2) 売上・店舗数推移
- 3) 当社の特長
- 4) 基本戦略

① スーパーバリューとは・・・

SM

食品スーパー



(複合)

HC

ホームセンター



都市型スーパーセンター

【埼玉】
11店舗

【東京】
8店舗

【神奈川】

【千葉】
1店舗

注)番号は出店順

【埼玉】

- ①草加店
- ②越谷店
- ③戸田店
- ⑤春日部武里店
- ⑧上尾愛宕店
- ⑨川口前川店
- ⑩入間春日町店
- ⑪東所沢店
- ⑬大宮天沼店
- ⑭見沼南中野店
- ⑰中浦和店
(2011年7月6日開店)

【東京】

- ④練馬大泉店
- ⑦杉並高井戸店
- ⑫荒川一丁目店
- ⑮志茂店
- ⑯府中新町店(2011年9月8日開店)
- ⑲国立店(2011年11月3日開店)
- ⑳西尾久店(2012年3月2日開店)

【千葉】

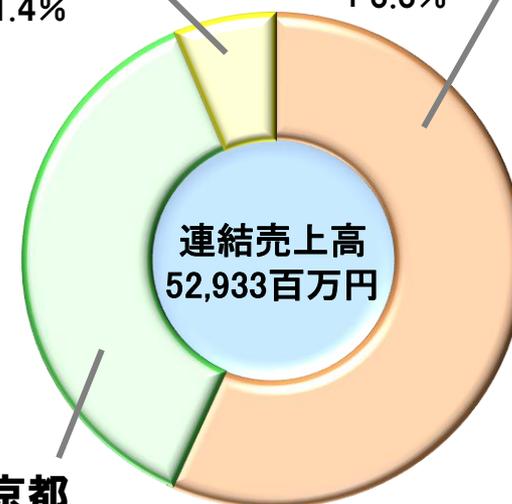
- ⑥南船橋店

【地域別連結売上高構成】

(2012年2月期)

千葉県 3,309百万円 / 6.3%
+1.4%

埼玉県 30,031百万円 / 56.7%
+3.3%



東京都 19,591百万円 / 37.0%
+25.3%

2 売上・店舗数推移

【1996年3月】
「㈱大川ホームセンター」設立(同年7月営業開始)

【2005年3月】
社名を「㈱スーパーバリュー」に変更
ストアブランドも「Super Value」(スーパーバリュー)に統一

【2005年9月】
「Value Plaza 上尾愛宕店」をSPC方式で出店するため
(有)上尾企画を設立(2011年12月8日清算)
→2006年6月より、同店舗のテナント管理業務を子会社
(有)バリューサポートに移管

【2006年1月～12月】
経営の効率化と管理の
簡素化を目的として
子会社を吸収合併

新規出店
・西尾久店
東京都荒川区
2012年3月2日開店

【2008年2月】JASDAQ上場

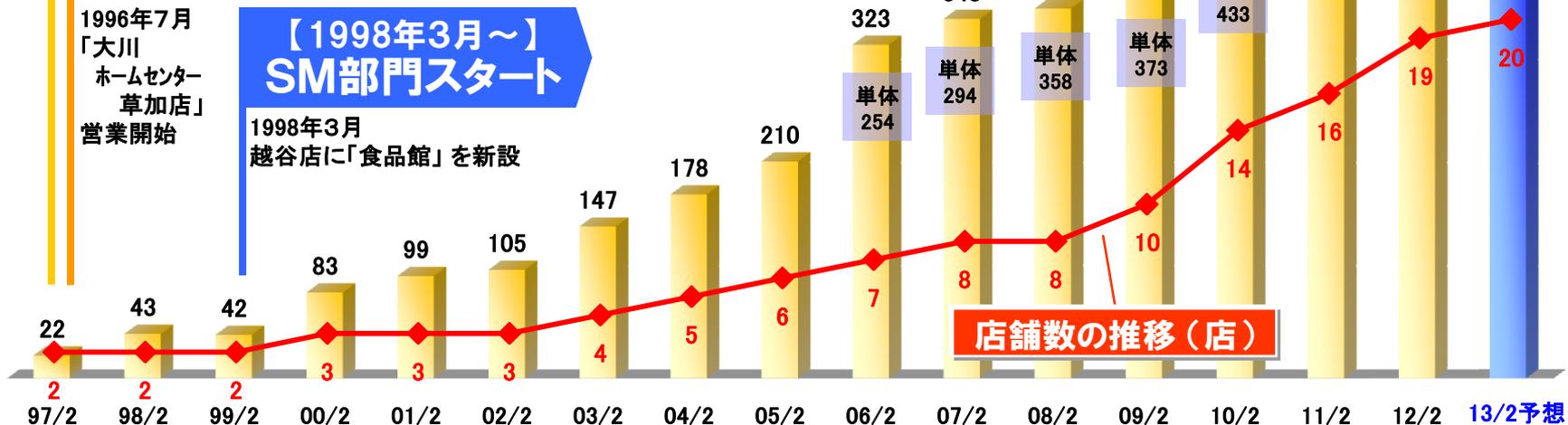
【1996年7月～】
HC部門スタート

売上高の推移(億円)

【1998年3月～】
SM部門スタート

1996年7月
「大川
ホームセンター
草加店」
営業開始

1998年3月
越谷店に「食品館」を新設



店舗数の推移(店)

注: グラフは、05年2月期までは単体、06年2月期以降は連結



3 当社の特長

店舗への
大幅な権限委譲

⇒迅速な競合店対策

+

よい商品をより安く

⇒鮮魚は毎朝市場仕入

+

幅広い品揃え

⇒家庭用から業務用まで
地域ニーズに応じた品揃え

強い
集客力

高い客単価

⇒2,298円(2012年2月期)

高い商品回転率

⇒SM 68.8回/年
HC 7.1回/年
(2012年2月期)

高い生産性

⇒1人当たり売上高
29,804千円(2012年2月期)

4 基本戦略 ローコスト経営

常に競合店を上回る価格競争力

これを実現している
基本戦略

- 売上総利益率を下げ、集客と売上を拡大する路線
- これを可能とする「ローコスト経営体質」の追求

【売上総利益率の競合比較】

当社グループ（12年2月期）		⇔	業界平均（競合上場会社）	
SM事業部	20.4%		25.9%	SM業界
HC事業部	21.3%		30.3%	HC業界

【売上高販管費率の競合比較】

当社グループ（12年2月期）	⇔	業界平均（競合上場会社）	
19.0%		26.6%	SM業界
		27.4%	HC業界

注) 業界平均の数値は以下の基準で選定した会社の有価証券報告書等より集計

SM: (株)日本経済新聞社「第44回日本の小売業調査」のSM業態区分「地方スーパー」上位10社のうち上場会社7社と当社と競合する主な会社8社

(イオン北海道(株)、(株)サンエー、(株)タイヨー、(株)関西スーパーマーケット、(株)ヤマナカ、(株)ユニバース、(株)ヤマザワ、(株)マルエツ、(株)いなげや、(株)ヤオコー、(株)エコス、(株)ベルク、(株)マミーマート、(株)東武ストア、(株)マルヤ)

HC: (株)日本経済新聞社「第39回日本の専門店調査」のHC・カー用品業界上位よりカー用品を除く上場会社10社(持株会社上場会社含む)と当社と競合する主な会社1社

(コーナン商事(株)、(株)コメリ、(株)ナフコ、(株)ケーヨー、ホームック(株)、(株)島忠、LIXILビバ(株)、(株)カーマ、ダイキ(株)、アーランドサカモト(株)、(株)セキチュー)



2. 決算概況



- 1) 決算ハイライト
- 2) 既存店の状況
- 3) 売上の状況
- 4) 四半期の状況
- 5) コストの状況
- 6) 設備の状況／従業員の状況
- 7) 要約貸借対照表
- 8) 要約キャッシュ・フロー計算書

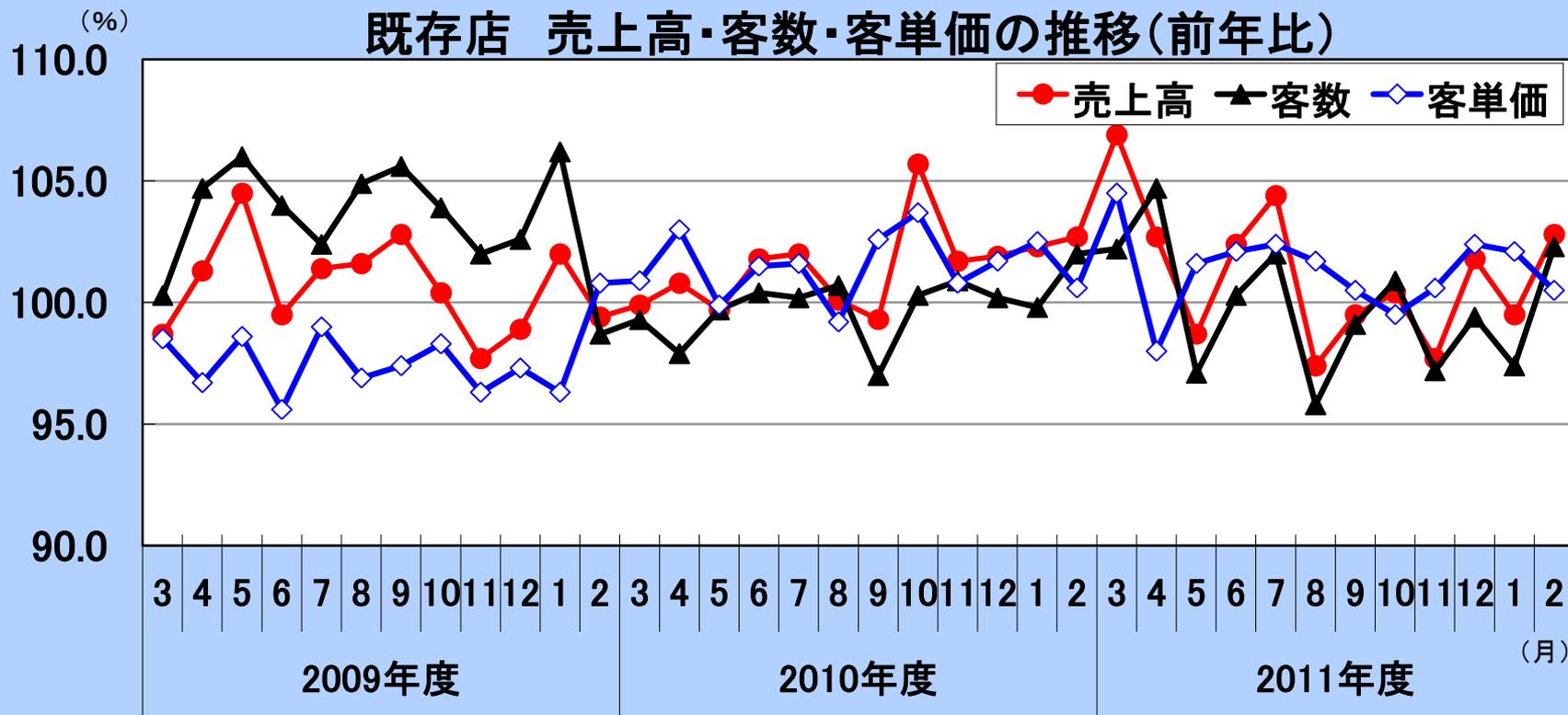
1 決算ハイライト

単位: 百万円、%

<連結>	2010年2月期		2011年2月期		2012年2月期		
		売上比		売上比		売上比	前年同期比
売上高	43,334	100.0	47,975	100.0	52,933	100.0	+10.3
売上総利益	8,801	20.3	9,743	20.3	10,905	20.6	+11.9
営業収入	302	0.7	301	0.6	289	0.5	△4.0
営業総利益	9,103	21.0	10,045	20.9	11,195	21.1	+11.4
営業利益	1,135	2.6	1,087	2.3	1,123	2.1	+ 3.3
経常利益	970	2.2	970	2.0	1,046	2.0	+ 7.8
特別損益	△ 30	-	△129	-	△185	-	-
当期純利益	554	1.3	488	1.0	488	0.9	+ 0.2
総資産	21,077	-	20,029	-	22,569	-	+ 12.7
純資産	3,298	-	3,740	-	4,134	-	+ 10.5
1株当たり 当期純利益	264.09円	-	232.42円	-	232.74円	-	+ 0.32円
1株当たり純資産	1,564.09円	-	1,774.58円	-	1,961.59円	-	+ 187.01円
1株当たり配当金	22.0円	-	23.0円	-	24.0円	-	+ 1.0円

過年度分のポイント引
当金繰入額: 95百万円
資産除去債務会計基準
の適用に伴う影響額:
70百万円

② 既存店の状況



出退店の状況

- **出店**：中浦和店(7月)、府中新町店(9月)
国立店(11月)
- **退店**：なし
- **改装**：春日部武里店、杉並高井戸店
上尾愛宕店(増床)、東所沢店

既存店売上高の状況

2012/2期	前年同期比
既存店売上高	101.0%
客数	99.8%
客単価	101.2%
買上点数	101.2%

※前年比推移グラフ(上グラフ)の客数・客単価におきましては、2009年10月～2010年10月の間は越谷店を除いております(SMとHCの売場を入れ替える大改装を実施のため)。

③ 売上の状況 事業部門別売上高・売上総利益率

単位：百万円、%

<連結>	2010年2月期			2011年2月期			2012年2月期			
	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	売上総利益率	売上高	売上比	前年同期比	売上総利益率
連結合計	43,334	100.0	20.3	47,975	100.0	20.3	52,933	100.0	+10.3	20.6
SM事業部	31,153	71.9	19.8	35,716	74.4	19.9	40,090	75.7	+ 12.2	20.4
生鮮食品	15,436	35.6	23.3	17,700	36.9	23.2	19,603	37.0	+ 10.8	23.9
グロサリー	15,717	36.3	16.4	18,016	37.5	16.7	20,486	38.7	+ 13.7	17.0
HC事業部	12,181	28.1	21.6	12,258	25.6	21.5	12,843	24.3	+ 4.8	21.3
第一グループ※	2,124	4.9	26.2	2,122	4.4	25.8	2,312	4.4	+ 8.9	26.0
第二グループ※	3,125	7.2	21.8	3,003	6.3	21.4	2,959	5.6	△ 1.5	20.9
第三グループ※	6,463	14.9	20.2	6,621	13.8	20.3	7,159	13.5	+ 8.1	20.6
第四グループ※	271	0.6	12.3	327	0.7	12.8	369	0.7	+ 13.0	11.7
その他	196	0.5	31.0	183	0.4	32.6	42	0.1	△ 76.7	16.3

※ 2012年2月期よりポイント引当金を計上しており、上表の2012年2月期の数値はポイント引当金（60百万円）を差し引いた後の数値であります。

※ 「第一グループ」：日曜大工用品、園芸用品、エクステリア用品 「第二グループ」：カー用品、レジャー用品、ペット用品
「第三グループ」：家電製品、対面（時計・カメラ等）、インテリア用品、家庭・日用雑貨、文具・玩具、ドラッグ 「第四グループ」：リフォーム

4 四半期の状況

単位:百万円、%

<連結>	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計		第3四半期		第4四半期		通期合計	
		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比
売上高	12,643	+ 5.7	12,625	+ 5.4	25,269	+ 5.6	12,984	+ 11.6	14,679	+ 18.4	52,933	+ 10.3
SM	9,512	+ 7.7	9,424	+ 6.2	18,936	+ 7.0	9,936	+ 14.5	11,217	+ 20.1	40,090	+ 12.2
HC	3,131	+ 0.0	3,201	+ 3.1	6,332	+ 1.5	3,048	+ 3.0	3,461	+ 13.0	12,843	+ 4.8
売上総利益	2,605	+ 9.7	2,509	+ 4.4	5,115	+ 7.0	2,686	+ 13.2	3,103	+ 19.8	10,905	+ 11.9
SM	1,935	+ 13.5	1,839	+ 6.0	3,774	+ 9.7	2,021	+ 16.6	2,368	+ 22.3	8,164	+ 14.8
HC	670	+ 0.0	669	+ 0.2	1,340	+ 0.1	665	+ 4.0	734	+ 12.3	2,740	+ 4.1
売上総利益率	20.6	+ 0.7	19.9	△ 0.2	20.2	+ 0.2	20.7	+ 0.3	21.1	+ 0.2	20.6	+ 0.3
SM	20.3	+ 1.0	19.5	△ 0.0	19.9	+ 0.5	20.3	+ 0.4	21.1	+ 0.4	20.4	+ 0.5
HC	21.4	+ 0.0	20.9	△ 0.6	21.2	△ 0.3	21.8	+ 0.2	21.2	△ 0.1	21.3	△ 0.1
営業利益	431	+ 96.2	118	△ 53.2	550	+ 16.2	126	△ 48.9	446	+ 21.8	1,123	+ 3.3
経常利益	404	+ 121.2	102	△ 52.3	507	+ 27.6	106	△ 48.1	433	+ 17.3	1,046	+ 7.8
当(四半)期 純利益	128	+ 399.9	58	△ 53.8	187	+ 22.9	60	△ 49.7	240	+ 12.3	488	+ 0.2

春日部武里店改装(3月)
杉並高井戸店改装(4月)

中浦和店オープン
(7月)

上尾愛宕店増床(6月)
本社移転(7月)

府中新町店オープン(9月)
国立店オープン(11月)

5 コストの状況

単位:百万円、%

<連結>	2010年2月期		2011年2月期		2012年2月期		
		売上比		売上比		売上比	前年同期比
売上高	43,334	100.0	47,975	100.0	52,933	100.0	+ 10.3
売上総利益	8,801	20.3	9,743	20.3	10,905	20.6	+ 11.9
営業総利益	9,103	21.0	10,045	20.9	11,195	21.1	+ 11.4
販管費 (主なもの)	7,968	18.4	8,958	18.7	10,071	19.0	+ 12.4
広告宣伝費	312	0.72	325	0.68	327	0.62	+ 0.7
人件費	3,698	8.53	4,218	8.79	4,646	8.78	+ 10.1
地代家賃	937	2.16	1,127	2.35	1,331	2.51	+ 18.1
リース料	294	0.68	270	0.56	240	0.45	△ 11.4
水道光熱費	413	0.95	475	0.99	514	0.97	+ 8.1
開店一時経費	41	0.09	38	0.08	71	0.13	+ 82.7

売上総利益率: +0.3pt

- 震災特需による一時的な価格競争の消滅
 - ・商品があれば売れる
- 仕入原価の引き下げ
 - ・新規取引先の開拓、取引条件の見直し
- 生鮮食品(青果・精肉・惣菜)の物流センター利用
 - ・11月より順次移行

販管费率: +0.3pt

- ・人件費の増加
 - ・新店要員の早期採用
 - ・新卒新入社員の入社
 - ・新店開店に伴うパート、アルバイトの増加
 - ・地代家賃の増加
 - ・新店開店によるもの(前期2店、当期3店)
 - ・水道光熱費の増加
 - ・新店開店によるもの
- ⇒持続的な成長の為の投資による増加

6 設備の状況／従業員の状況

● 設備の状況

単位:百万円、%

<連結>	2010年2月期	2011年2月期		2012年2月期		
				前年同期比 増減額	前年同期比 増減額	前年 同期比
新店・先行投資	587	303	△ 284	1,812	+ 1,509	+ 498.0
既存店活性化他	175	237	+ 61	440	+ 203	+ 85.8
設備投資計	762	540	△ 222	2,253	+ 1,713	+ 317.1
減価償却費	395	471	+ 75	632	+ 160	+ 34.1

・新店の出店に係る投資(3店舗)
→国立店は5年ぶりの複合大型店の新規出店

・今後の出店に係る投資(西尾久店)

・越谷店の駐車場拡張に伴う土地の取得、駐車場整備費用

・改装費用(4店舗)

・本社移転に係る投資

● 従業員の状況

単位:人

<連結>	2010年2月期末	2011年2月期末		2012年2月期末	
				前年同期比 増減数	前年同期比 増減数
社員	355	388	+ 33	439	+ 51
契約・嘱託・臨時	1,025	1,104	+ 79	1,337	+ 233
合計	1,380	1,492	+ 112	1,776	+ 284

・新店要員の早期採用

・新卒採用活動に伴う新入社員の入社

・新店開店に伴う増加

注) 契約・嘱託・臨時の人員数は、期中平均雇用人数(8時間換算)。

7 要約貸借対照表 ①資産の部

決算期末日が金融機関の休日であったことによるもの

単位:百万円、%

<連結>	2010年2月期		2011年2月期		2012年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動資産	5,492	26.1	4,308	21.5	4,797	21.3	+ 489
現金及び預金	2,963	14.1	1,663	8.3	1,230	5.5	△ 433
商品(及び製品)	2,018	9.6	2,072	10.3	2,704	12.0	+ 632
固定資産	15,559	73.8	15,721	78.5	17,771	78.7	+ 2,050
有形固定資産	13,646	64.7	13,506	67.4	14,471	64.1	+ 964
建物及び構築物	5,556	26.4	5,228	26.1	5,580	24.7	+ 352
土地	7,696	36.5	7,905	39.5	8,053	35.7	+ 147
無形固定資産	125	0.6	141	0.7	33	0.1	△ 108
投資その他の資産	1,787	8.5	2,073	10.4	3,267	14.5	+ 1,193
差入保証金	1,722	8.2	1,926	9.6	2,797	12.4	+ 871
繰延資産	25	0.1	-	-	-	-	-
総資産	21,077	100.0	20,029	100.0	22,569	100.0	+ 2,539

7 要約貸借対照表 ②負債・純資産の部

決算期末日が金融機関の休日であったことによるもの

注) 有利子負債合計には、リース債務を含んでおりません。 単位: 百万円、%

<連結>	2010年2月期		2011年2月期		2012年2月期		
		構成比		構成比		構成比	増減額
流動負債	9,719	46.1	7,660	38.2	9,809	43.5	+ 2,149
仕入債務	5,188	24.6	3,444	17.2	4,287	19.0	+ 843
短期借入金	1,550	7.4	1,450	7.2	1,950	8.6	+ 500
1年内返済予定の長期借入金	1,668	7.9	1,503	7.5	1,890	8.4	+ 387
ポイント引当金	-	-	-	-	155	0.7	+ 155
固定負債	8,058	38.2	8,628	43.1	8,625	38.2	△ 3
長期借入金	7,528	35.7	7,913	39.5	7,625	33.8	△ 288
資産除去債務	-	-	-	-	223	1.0	+ 223
負債合計	17,778	84.3	16,288	81.3	18,434	81.7	+ 2,146
純資産合計	3,298	15.7	3,740	18.7	4,134	18.3	+ 393
負債・純資産合計	21,077	100.0	20,029	100.0	22,569	100.0	+ 2,539
有利子負債合計	10,746	51.0	10,867	54.3	11,466	50.8	+ 598
有利子負債合計(単体)	5,421	34.5	5,792	38.9	11,466	50.9	+ 5,673

8 要約キャッシュ・フロー計算書

前年度決算期末日が金融機関の休日であったことによる仕入債務の減少によるもの

単位：百万円

<連結>	2010年2月期	2011年2月期	2012年2月期	
				増減額
営業キャッシュ・フロー	1,483	△ 747	1,395	+ 2,142
税金等調整前当期純利益	939	841	860	+ 19
減価償却費	396	471	632	+ 160
たな卸資産の増(▲)減額	△ 179	△ 56	△ 634	△ 578
仕入債務の増減(▲)額	448	△ 1,744	843	+ 2,588
法人税等の支払額	△ 402	△ 388	△ 488	△ 100
投資キャッシュ・フロー	△ 741	△ 539	△ 2,249	△ 1,709
有形固定資産の取得による支出	△ 559	△ 165	△ 1,063	△ 898
敷金及び保証金の差入による支出	△ 114	△ 375	△ 1,188	△ 813
財務キャッシュ・フロー	△ 498	△ 13	420	+ 433
短期借入金の純増減(▲)額	500	△ 100	500	+ 600
長期借入金の純増減(▲)額	△ 933	220	98	△ 121
現金及び現金同等物の増減額	243	△ 1,299	△ 433	+ 866
現金及び現金同等物の期末残高	2,963	1,663	1,230	△ 433



3. 業績予想と取り組み



- 1) 通期業績予想
- 2) 今後の取り組み
 - ① 出店戦略
 - ② 強い会社づくり
 - ③ 継続取り組み事項

1 通期業績予想

単位：百万円、%

<連結>	2011年2月期		2012年2月期		2013年2月期(予想)		
		売上比		売上比		売上比	前年同期比
売上高	47,975	100.0	52,933	100.0	60,000	100.0	+ 13.4
売上総利益	9,743	20.3	10,905	20.6	12,500	20.8	+ 14.6
営業利益	1,087	2.3	1,123	2.1	1,215	2.0	+ 8.2
経常利益	970	2.0	1,046	2.0	1,157	1.9	+ 10.6
特別損益	△ 129	-	△ 185	-	-	-	-
当期純利益	488	1.0	488	0.9	634	1.1	+ 29.7

- **新規出店：1店予定 西尾久店 SM店 東京都荒川区 3月2日開店**
⇒居抜き出店にも継続して取り組む
- **既存店売上高：+1.0%**
⇒前年は震災仮需要もあるが、年間での達成を目指す
- **当期のテーマ：環境の激変にも動じない強い会社づくり**
⇒20店舗体制となり、さらなる成長への基盤を固める

② 今後の取り組み ① 出店戦略

- **確実な需要が見込める市街地への出店**
 - ◆「国道16号線」内側の市街地・人口密集地をターゲットに「ドミナント出店」
 - ◆都心部において十分な広さの物件の確保が難しい場合には、小型SM店での出店も視野に入れる
- **一店一店の収益性・効率性・地域性を重視し、独自の出店基準に基づいた無理のない出店**
 - ◆売場構成・品揃え・店舗サービスなど、出店地域にあわせた柔軟な店舗フォーマット
- **新規出店は年間3～4店舗を目標**
 - ◆2013年2月期は、既存店の強化に注力
 - ◆投資コストを抑制できる居抜物件への出店
 - ◆SM・HC複合店の出店

② 今後の取り組み ②強い会社づくり

● ロスの撲滅(販売・値下げ・廃棄)

◆自動発注システムの導入・・・売上総利益率の改善、生産性向上・効率化

⇒3月より実験運用開始、順次部門・店舗を拡大していく

◆生鮮部門の精度の高い生産体制の構築・・・売上総利益率の改善、お客様サービス

⇒製造データ及び販売データの分析により時間帯別・アイテム別の生産体制を強化

● 物流センターの拡大強化

◆DC機能の整備(高回転商品を大量ロットで仕入・ストック)・・・売上総利益率の改善

⇒4月より加工食品中心に20商品でスタート、輸入商品やHC商品へ拡大を目指す

● 既存店への投資

◆売場照明のLED化・・・省エネ・エコ、コスト改善

・基本照明(蛍光灯)を13店舗、スポットライトを15店舗でLED照明に交換

⇒年間電気料金の15～20%削減を見込む

◆レジ自動釣札機の導入・・・お客様サービス、生産性の向上

・SM・HC複合店を中心に7店舗で導入

② 今後の取り組み ③ 継続取り組み事項

● お客様に支持される店舗づくり

- ◆ 地域一番の価格
- ◆ 安全・安心な商品の提供
- ◆ お買い物しやすい売場
- ◆ 節電、省エネ商品の品揃え強化

⇒ 関連販売の強化、産直商品の拡大、販売企画・フェア開催の強化・・・

● 仕入先の見直し、仕入条件の改善

- ◆ 仕入原価のほか、適正な納品数量、物流センター利用など複数の視点で改善

● 従業員教育の強化による、サービスレベルの向上と作業効率改善

- ◆ レジ・生鮮トレーナーの活用と新卒新入社員の早期戦力化

● 現金ポイントカードを活用した優良顧客の囲い込み

- ◆ 付与率変更(2012年2月)によるお買い上げ金額の高価格帯ゾーンへの誘導
- ⇒ 個人事業主・業務用需要も取り込む
- ※カード会員数:36万名(2012年3月末)



参考情報



- 1) 店舗の状況
- 2) 新店紹介(国立店)

1 店舗の状況

売場面積 140坪(大宮天沼店) ~ 3,650坪(上尾愛宕店)

駐車場 10台(等々力店) ~ 1,330台(上尾愛宕店)

営業時間 10:00* ~ 20:00 (又は21:00) *一部店舗は7時又は9時

中浦和店 (2011年7月6日開店)



府中新町店 (2011年9月8日開店)



2 新店紹介

国立店 SM+HC複合大型店（2011年11月3日開店）



鮮魚対面
コーナー



日用品売場

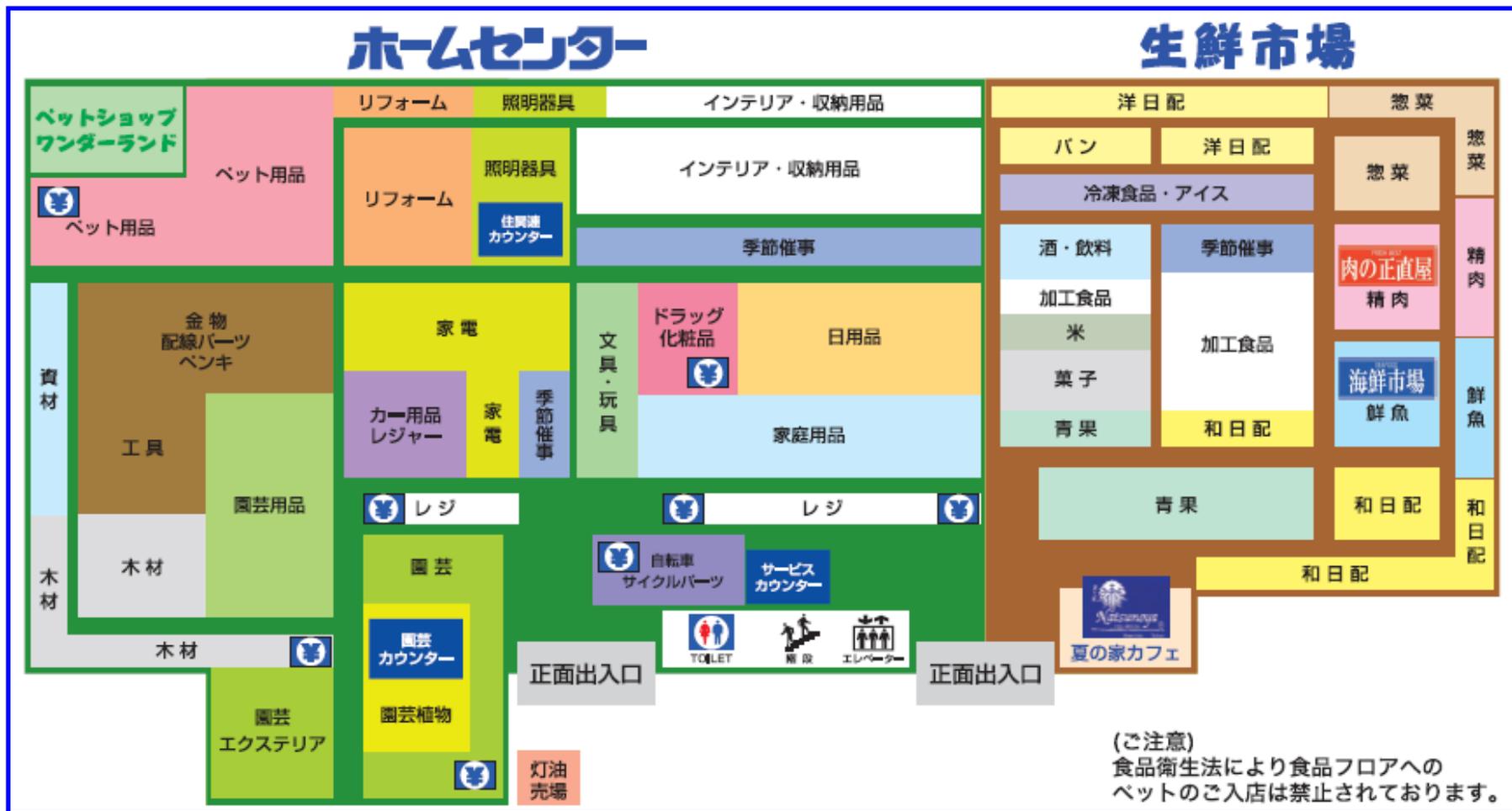
*背の低い什器
により見通し
が良い



外売場

2 新店紹介 売場ゾーニング

国立店





この資料は投資家の参考に資するため、株式会社スーパーバリュー（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2012年4月25日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



株式会社スーパーバリュー 社長室

TEL : 048-778-3222

E-MAIL: ir@supervalue.co.jp